

11月7日(水)

本日の午前中には滝沢潤先生による講義(Educational Administration for Curriculum, Textbook and Teachers in Japan)が行われました。日本の教育行政についてカリキュラムや教科書、教員の観点から授業がなされました。特に教科書採択制度に関しては国によって大きく異なっているようで、日本のシステムそのものを理解するのに苦労している様子もみられました。例えば、イスラエルをはじめいくつかの国では、どの地域でも同じ各教科 1 種類の教科書を使うということでした。各県や市によって教科書が異なる(各教科書は国によって検定済み)という日本のシステムについて、非常に驚いた様子でありました。

午後からは桑山尚司先生による講義(Lesson Study Framework and Implementation Process for Continuous Professional Development of teacher's Learning Community in Japan)で、Lesson Study(授業研究)に関する内容でした。日本の各学校が授業研究に取り組んでいる様子が詳しくわかり、研修員たちも熱心に話を聞いていました。自己・他己評価や教員同士の授業改善、研修、生徒も巻き込んだオープンスクールなど多岐にわたる授業研究に興味を寄せていました。

